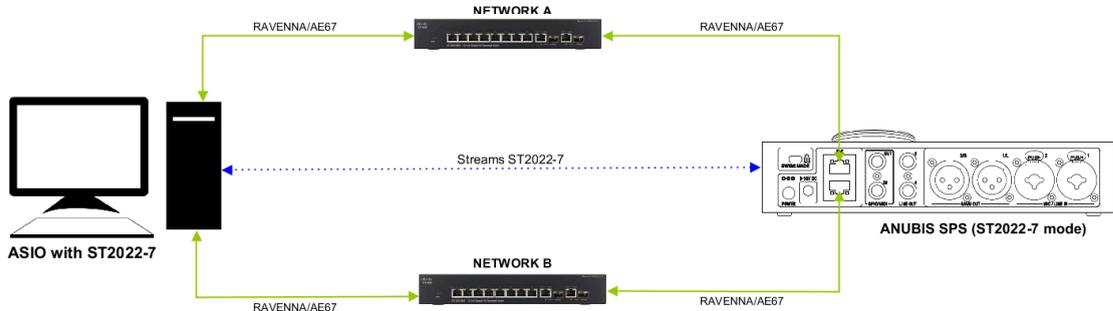




## Merging Audio Device : ST2022-7の基本的な設定



### 必要なもの

- Merging RAVENNA ASIO Driver (V13以上) または Merging Audio Device がインストールされている PC (Windows)。詳細については、このページの指示に従ってください。
- ST2022-7 対応の AES67 / Ravenna 互換デバイス (ドライバーに ASIO クロックを使用するには、ネットワーク上に Merging デバイスが必要です) Anubis では、ファームウェア V1.1.8b44345 以降が必要です。Horus / Hapi は、ファームウェア V3.9.9b44345 以降が必要です。
- 適切に設定された AES67 / Ravenna 互換ネットワークスイッチがデバイスとコンピューターの間には必須です。
- "ASIO ST2022-7 モード" の認証キーについては、[keys@merging.com](mailto:keys@merging.com) または Merging 社製品販売パートナーにお問い合わせください。
- PC には、Google Chrome がインストールされていて、標準のブラウザとして設定されていることを確認してください。

### 手順

#### 1. 認証キーの入力

コントロールパネル > MT Security Settings を開き、Key ファイルを Import で読み込んでください。  
Key の Import 後、Authorization のリストで "ASIO ST2022-7" オプションが Permanent になっていることを確認してください。

#### 2. デバイスの IP アドレスの設定

この例では Anubis SPS で設定を行います。  
Merging ロゴを長押しして Settings にアクセスします。  
General > Network を開きます。  
ST2022-7 mode をアクティブにします。  
Interface 1 と 2 に IP アドレスを設定します。  
Note: IP アドレスは IP のコンフリクトを避けるため異なるレンジを使用してください。

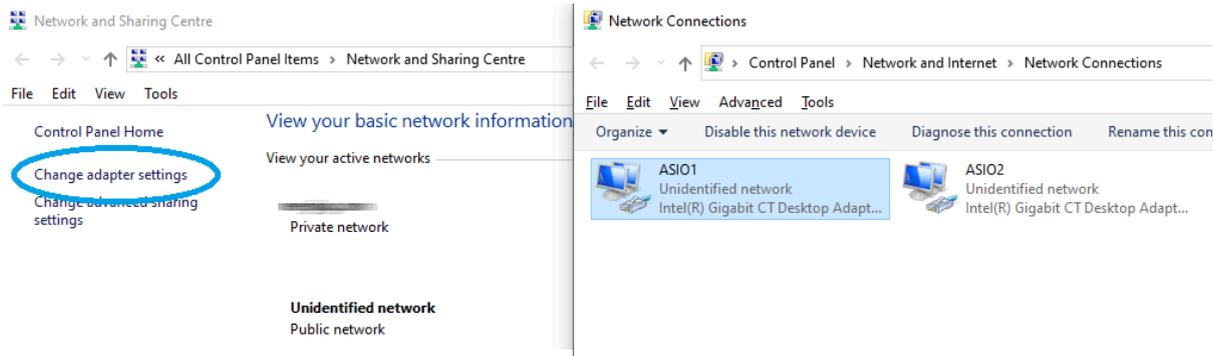


設定を終えたら Apply & Reboot を押してください。

### 3. PCのIPのアドレスの設定

この例では、コンピューターに2つのネットワークアダプターと1つのAnubis SPSデバイスがあることを前提としていますが、2つのデバイスで実行する場合も同じ手順が適用されます。

コントロールパネル > ネットワークと共有センター を開き、左にある“アダプター設定の変更”をクリックします。

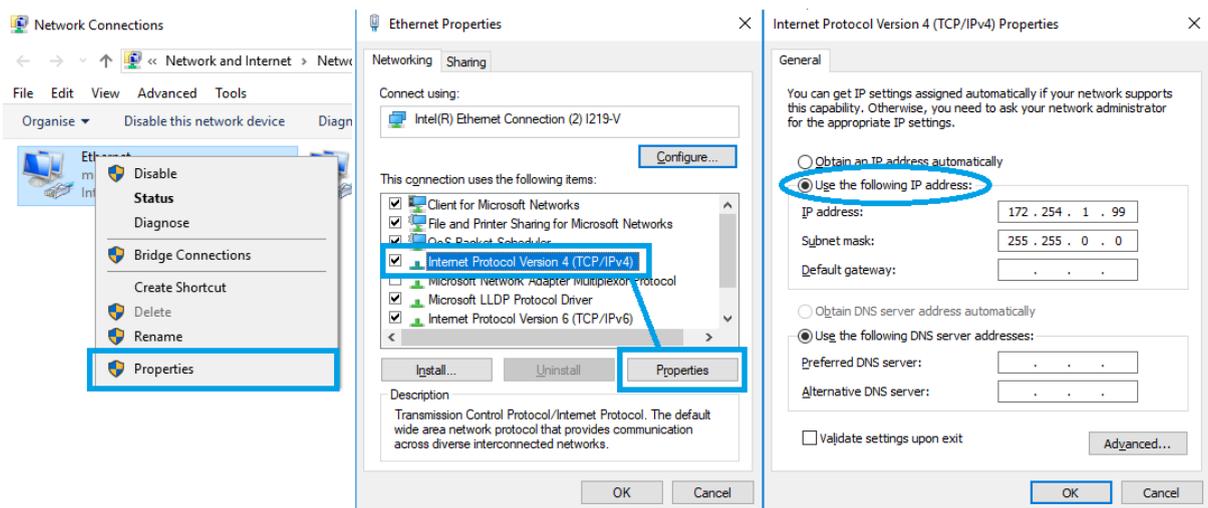


アダプター アイコンを右クリックし、“プロパティ” を選択します。

“インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)” を選択し、“プロパティ(R)”をクリックします。

“次のIPアドレスを使う” にチェックを入れ、IPアドレスを入力します。アドレスはAnubis SPSのInterface 1 に設定したアドレスと同じレンジに設定してください。

例: IPを 172.168.0.10 に設定し、Anubis Interface 1 を172.168.0.20 に設定した場合、Windowsではサブネット マスクを自動的に設定します。



### 4. Merging RAVENNA ASIO または Merging Audio Device ドライバーの設定

Merging RAVENNA ASIO または Merging Audio Device を開きます。



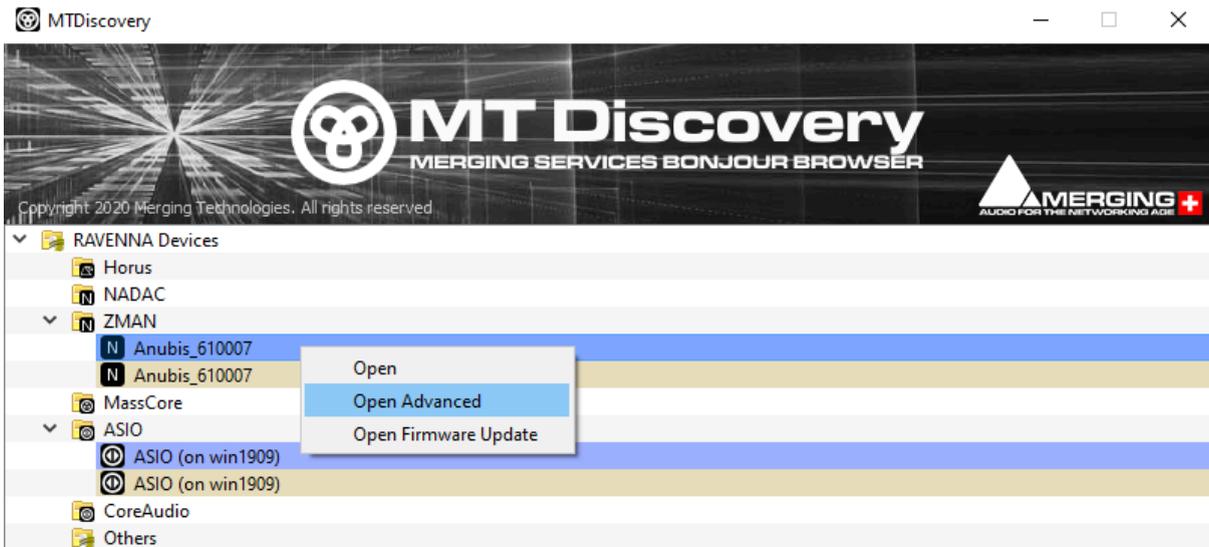
RAVENNA/AES67 Settings で、Interface 1 に接続しているネットワーク アダプターを選択します。

Interface 2 に接続しているネットワーク アダプターを Secondary adapter に選択します。

Apply をクリックします。

## 5. Advanced ページでオーディオ コネクションを作成する

MT Discovery を開きます。



Anubis を右クリックして、“Open Advanced” を選択します。

ブラウザが開いたら、“General Settings” ページを開き、“ST2022-7 mode” をアクティブにしてください。

“Session Source” ページを開き、ソケット アイコンをクリックして新しい “Source” を作成してください。

“Output Interface(s)” を “Interface 1&2(ST\_2022-7)” に設定してください。

その他の設定は(チャンネル数, Inputs, など)通常通り設定してください。



General settings | PTP | Session sources | Session sinks | Ins/Outs | I/O Router | Statistics | NMOS | System

Create new source

2022 Anubis\_ST2022-7 Source

### Configuration

Enabled

IO Stream

Name Anubis\_ST2022-7 Source

Description

Output Interface(s) Interfaces 1&2 (ST\_2022-7)

Auto-unicast  retrieve unicast address/port from sink (RTSP)

Address 239.1.65.181

Address sec 239.1.20.13

次に同様の方法で ASIO デバイスの "Advanced pages" を開きます。

"General Settings" ページを開き、"ST2022-7 mode" をアクティブにしてください。

"Session Sink" ページで新しい "Sink" を作成します。

"Source" のドロップダウン メニューで Source を選択します (システムはSourceがST2022-7であることを認識します)。

General settings | PTP | Session sources | Session sinks | Ins/Outs | System

Create new sink

Anubis\_ST2022-7 Source

### Configuration

IO Audio Device

Label

Description

Source Anubis\_ST2022-7 Source

Delay (samples) Anubis\_ST2022-7 Source

Ignore refclk GMID sap://Anubis\_ST2022-7 Source

Channels Channel count 8

Count adapted

ASIO Input 1 - ASIO Input 8

### Session Info

Session status Connected

RTP status Receiving

Session name Anubis\_ST2022-7 Source

Playout delay 512 (~10.7 ms)

RTSP Host 169.254.65.181

### Interface 1

RTP status 0x10: receiving RTP packets

Clock domain PTPv2 0

Address 239.1.65.181/15

Payload 98 L24/48000/8

### Interface 2

RTP status 0x10: receiving RTP packets

Clock domain PTPv2 0

Address 239.1.20.13/15

Payload 98 L24/48000/8

▶ SDP

以上で Anubis の Source は ST2022-7 で ASIO に接続されました。左のペインに両方のインターフェースの接続 ステータスが表示されます。

ASIO Session Source と Anubis Session Sinks で同様の操作を行い、ASIOからAnubisへの接続を行ってください。

Notes:

- Advanced ページでマニュアルで接続を行うのではなく、NMOSサーバーを通して接続を行うことも可能です。



---

NMOS には認証キーが必要です。